



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行  
市議団ニュース

ご相談は  
お気軽に  
市議会議員  
福田 明  
43-0468  
市議会議員  
鈴木やす子  
42-2462

# 食とエネルギー、ケアの 自給率を地域で高める

鈴木やす子議員の一般質問から

2011年第1回  
定例3月議会

震災情報を優先したために記事掲載がずれ  
こみましたが、さる3月10日におこなわれた  
市議会一般質問の報告です。今号では鈴木や  
す子議員の質問の概要を紹介します。

## TPPでなく 地域の自立こそ

〔鈴木やす子議員〕12  
月議会で、TPP交渉参  
加について質したが、市  
長は反対の明言を避けた。

その後、急速に反対の世  
論も広がっている。この  
3ヶ月で、農業の維持、  
両立できる方策はみえて  
きたのか改めてうかがう。  
〔豊田稔市長〕地方の  
一首长が参加の是非につ

いて簡単に発言する内容  
ではないと考えており、  
また重要な情報がだされ  
ないまま推移し、判断で  
きる状況でないことにも  
変わりない。ただし、新  
聞報道で私がTPPに賛  
成のように報じられてい  
るが本意ではない。農業  
振興が保障されていない  
現状では賛成できないと  
の考えにも変わりはなし。  
当面、6月まで政府の対  
応を見守りたい。

〔鈴木議員〕市民協働  
の窓口設置の目的と内容  
についてうかがう。  
〔鈴木元市長公室長〕  
自主的なまちづくりへの  
参加を推進し、市民協働  
のあり方などを検討する  
ため、行政としての窓口  
を新たににつくるもの。  
〔鈴木議員〕磯原中央  
公園の整備の内容につい  
てうかがう。  
〔鈴木健司都市建設部  
長〕市民の健康増進、災

## 「協働」の窓口と 磯原中央公園

害時の避難所、イベント  
会場や駐車場機能を有す  
る公園として整備する。  
なお芝生化については、  
スポーツ用途の充実とと  
もに、ドクターヘリ発着  
時の砂などの飛散防止の  
ためでもある。

〔鈴木議員〕市内児童  
公園や都市公園の整備・  
改修にも十分な予算づけ  
を要望する。

## 市営住宅の建設 と修繕の予算

再評価委員会では事業継  
続が妥当であるとされて  
いる。市財政などを考慮  
しながらすすみたい。さ  
らに施設老朽化にもなっ  
て改修・修繕費用は増大  
しているが、空き室全体  
の利用がはかられるよう  
予算確保につとめる。  
※このほか、市HPの  
充実、審議会の公開、商  
業分野の活性化について  
も質問。

〔鈴木議員〕公営住宅  
の新築・修繕の予算措置  
についてうかがう。  
〔都市建設部長〕下桜  
井団地については8棟の  
うち4棟を建設したが、  
経済状況の低迷で平成11  
年度以降休止している。

## 県庁交渉

4月13日、日本共産党茨城県委員会は、東日本大震災・原発被害についての県庁交渉(第4次)をおこないました。福田明、鈴木やす子の両市議も参加し、特に県北地域の地震・津波被害への支援、住宅確保を含め生活再建への支援、漁港・学校の改修、支援金の早

期支給を要望しました。  
また行政支援だけでなく、東電への被害賠償の働きかけも強く求め、さらに放射能汚染の測定の実と公開、万全な対策、とりわけ子どもたちへの対策を要望しました。  
(ウラ面に関連記事)

# 一步一步けんめいに 被災者支援と災害復旧

4月15日  
現在

- 死亡5名 行方不明1名
- 全半壊家屋 881
- り災証明申請 3671。調査済 3126。証明書発送 2605
- 避難者数 2ヶ所 63人。ほか「マウントあかね」に県外から6人  
※ 11日夕刻の余震と津波警報で避難者78名
- り災者向け住宅 2次募集 4月1~22日。8日に2次募集の1回目抽選。今後、2回にわたって抽選
- 津波被害などによる損壊家屋は、市が無料で撤去。今週から解体作業を開始予定
- 被災者向け相談総合窓口を市役所3階から2階に移動。3月22日から相談数約1231人 1860件。4月30日までは土・日も対応。5月は平日のみ実施予定
- ボランティア登録 703人(市内444人、市外259人)。4月11日、12日の大きな余震により、片付けなどのボランティア要請が再び増加。
- 水道は、余震で断水・修繕箇所が増加。15日付で、ほぼ全面復旧。さらに随時、漏水箇所の調査・修繕
- 市立図書館の再開は余震のため延期  
※ 市HPにて「災害・支援情報」を随時更新中。市広報は4月15日配布予定。

市役所前に放射線測定器が置かれています。一時期、袋がかぶせられていて、市民から「あれでは正確な測定はできないのではないか」という疑問が出されました。県の担当者に問い合わせたところ、いま使用しているのは右側だけとのことでした。それにしても誤解をまねく光景です。



放射能測定

